

2023年度 方針

2023年4月1日

公益財団法人 全日本ボウリング協会

会長 北川 薫

2022年度、新型コロナウイルス感染症に関連する様々な規制が徐々に緩和されていく中、JBCは感染拡大防止対策のもと、積極的な事業展開の両立を図りました。国内における事業に関しては、ほぼ全てを当初の予定どおりに実施でき、特に大会においてはボウラーの顕著な競技回帰傾向を見ることができました。

また事業の開催にあたり、運営に携わる方々のご協力は欠かせません。コロナ前とは比較にならないほどの配慮を持って取り組み、事業を成功へ導いてくださっているサポーターの皆様に、心より感謝申し上げます。

一方で、無観客開催や、国際大会派遣の断念などにより、ボウラーを応援して下さる方々は残念な思いをされています。今後、規制の緩和が進むに伴い、見る人に向けた施策をより充実させたい意向です。

2023年度は、JBCの中長期計画「JBC2030」のもと、「する・みる・ささえる」のバランスを常に念頭におき、ボウリングに関わる全ての人々が喜びや感動をわかちあえるよう、多様な機会を創出していく所存です。そして新たな仲間を広く受け入れることに注力し、ボウリング界の基盤を固めてまいります。そのために、引き続きスポーツ界、ボウリング界はもちろん、他業界とも幅広く連携し、国内競技統括団体として日本ボウリング界が抱える課題の解決に邁進します。

2023年度 重点目標

1. ボウラーの活躍促進による会員のモチベーションの向上・増強
2. 観る楽しさを創出し新たなボウリングファンの開拓
3. ボウリング界を支える喜びと、支える人への敬意の醸成

1. ボウラーの活躍促進による会員のモチベーションの向上・増強

(1) ボウラーの多様性に応じた事業の展開

- ・既存事業をボウラーの個性や属性に応じて積極的にリニューアルする
- ・ボウラーのモチベーションとなる、競技レベルに応じた大会を開催する

(2) 新規会員ボウラー獲得のための対策

- ・会員／非会員を問わず、広くボウラーに親しまれる事業を企画実施する
- ・ボウラーが拠点とする地域・ボウリング場との連携強化を図る

(3) トップアスリートの強化体制の整備と強化

- ・ナショナルチーム、ジュニアジャパン、シニアジャパンなど各制度による一貫強化体制を構築する
- ・海外トーナメント、ツアーへの挑戦を促進する制度と環境を充実させる
- ・会員のプロライセンス取得、プロ競技者の会員受け入れを促進する

2. 観る楽しさを創出し新たなボウリングファンの開拓

- (1) ファンが選手の活躍を間近に見る機会を設ける
 - ・大会において、エンターテインメント性を意識して選手の活躍を露出する
 - ・ファンがスター選手とともにプレーし、感動を共有できる場を設ける
- (2) ボウリングに関する情報を積極的に発信する
 - ・web サイト、SNS を活用した映像・情報配信により、スポーツボウリングの認知度を向上させる
 - ・ボウリング技術向上のための情報発信を展開する
- (3) IT を駆使した新規フォロワー獲得の推進
 - ・選手を応援する人々に対して、選手の活躍を披露する方法を開発する
 - ・イベント運営におけるモバイル機器・アプリの活用を促進する
- (4) 直轄ボウリングアリーナの設立推進
 - ・ボウリングの殿堂・聖地となる施設の創設を目指す
観る楽しさをコンセプトとし観客席を充実させた競技場
アスリートボウラーの養成を目的とした選手強化施設

3. ボウリング界を支える喜びと、支える人への敬意の醸成

- (1) ボウラーの競技活動に関わるスペシャリストの養成
 - ・日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ資格の取得を推進する
 - ・JBC・USBC コーチングマニュアルの普及促進とコーチ有資格者の知識・指導力を向上させる
 - ・JBC アカデミックスタッフによる技術解析と強化策開発を推進する
 - ・JBC 公認ドリラーと選手の連携を強化する
- (2) パラボウリングへの理解増進と支援者の養成
 - ・JBO と連携し、パラアスリートボウラーの認知・普及を図る
 - ・JBC 公認競技場におけるパラボウラーへの理解・支援を推進する
- (3) ガバナンスコードに基づく協会組織運営者の養成と抜擢
 - ・協会の内外から、多様な人材を発掘し協会運営に登用する
 - ・理事会、専門委員会における意見交換を今以上に活発化させ、新たな提案を積極的に採用する
 - ・協会運営業務の IT 化、講習会や会議等のオンライン化を推進し、参加しやすい体制を構築する

この方針の実施にあたり、内閣府、総務省、文部科学省、スポーツ庁をはじめとする各省庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、一般財団法人地域活性化センター、ボウリング業界、特別協力各社との連携を密にし、役員はもとより会員の皆さんと共に方針の達成に邁進します。